

愛知県産業労働計画（仮称）策定基礎調査 労働アンケート調査 結果概要

■調査概要

調査方法 インターネットリサーチを活用し、登録モニタを対象として調査を実施。

・調査対象 登録モニタのうち、以下の条件を満たす人を調査対象として選定

<愛知県に在住>

①愛知県内に通勤する有職者

②無職者（学生を除く）

<愛知県外（岐阜県、静岡県、三重県、長野県に在住）>

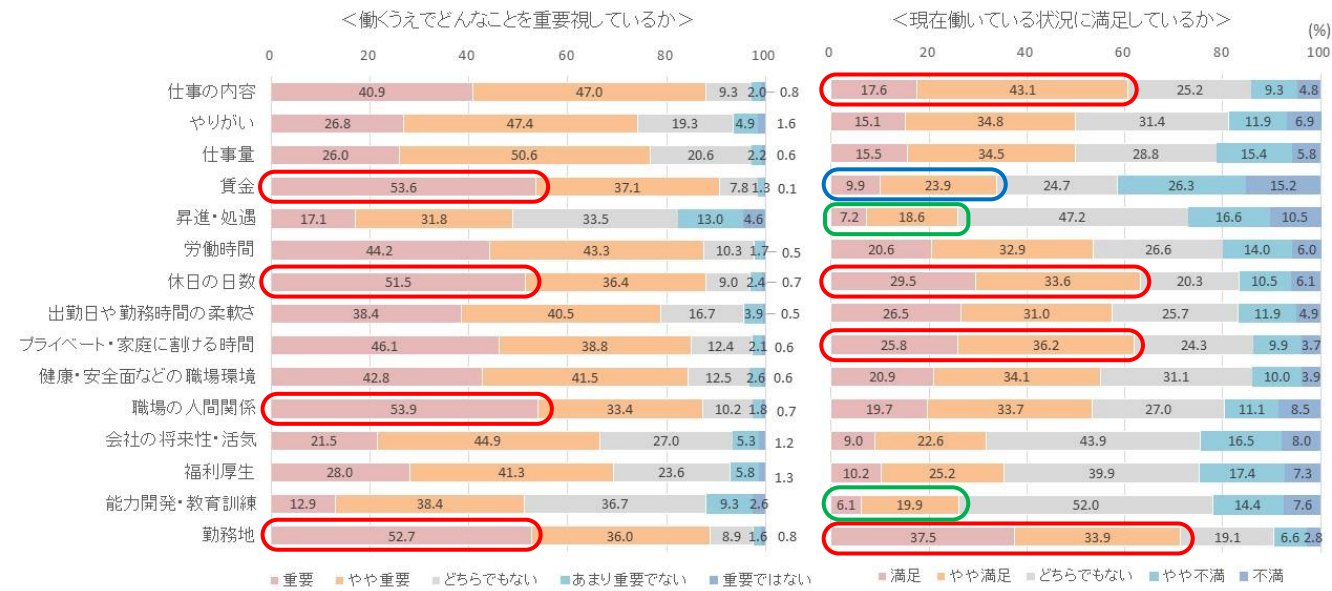
③愛知県内に通勤する有職者

・調査期間 2019年11月12日～11月15日

・回収数 2,064

1 働くうえで重要視していること・現在働いている状況に対する満足度

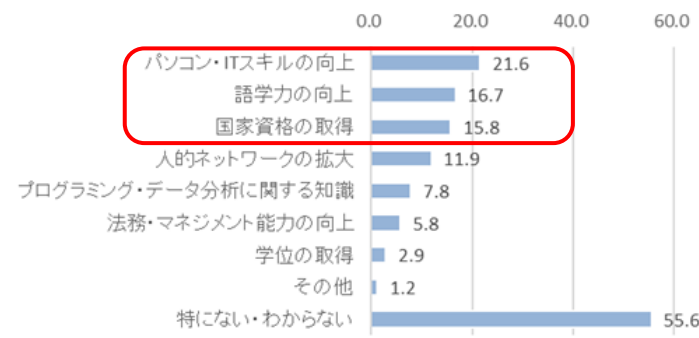
- ・働くうえで重要視していること（左図）において、「重要」との回答の割合は「職場の人間関係」（53.9%）、「賃金」（53.6%）、「勤務地」（52.7%）、「休日の日数」（51.5%）の4項目が5割を超える。
- ・現在働いている状況に対する満足度（「満足」と「やや満足」の計）（右図）は「勤務地」（71.4%）、「休日の日数」（63.1%）、「プライベート・家庭に割ける時間」（62.0%）、「仕事の内容」（60.7%）の4項目が6割を超える。一方「昇進・処遇」（25.8%）、「能力開発・教育訓練」（26.0%）は3割未満となっている。
- ・働くうえで重要視している割合が高い4項目のうち、「職場の人間関係」、「勤務地」、「休日の日数」の3項目は満足度が5割を超えているが、「賃金」（33.8%）は満足度が低い。



(n=2,064)

2 キャリアパスを見据えて取り組みたいこと

- ・「パソコン・ITスキルの向上」（21.6%）が最も高い。
- ・次いで「語学力の向上」（16.7%）、「国家資格の取得」（15.8%）と続く。
- ・回答者の半数弱がキャリアパスを見据え、何らかに取り組みたいとしている。

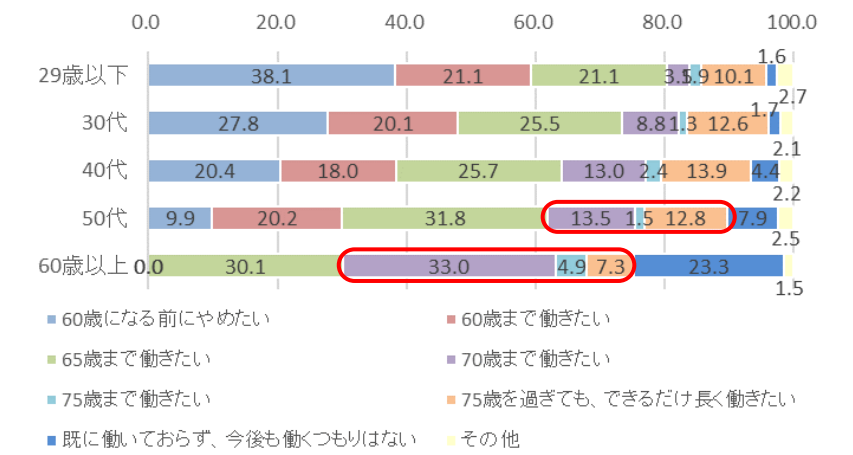


(n=2,064)

3 高齢になってからの働き方

（いつまで働きたいか）

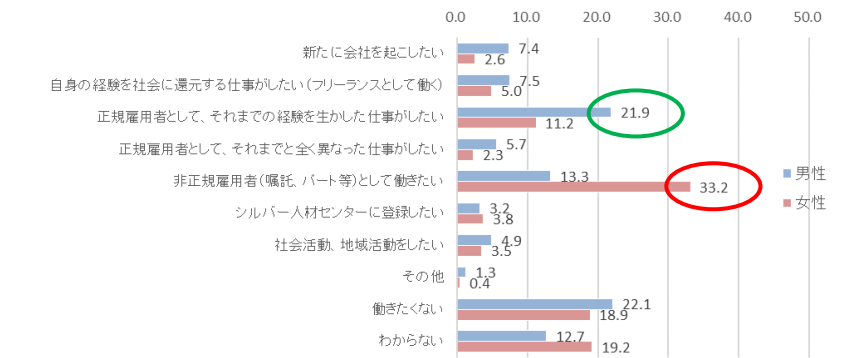
- ・年代が高くなるほど、高齢になっても働く意思を持つ割合が高くなる傾向がある。
 - ・65歳を超えて働くことを希望する人（※）は50代では3割弱（27.8%）、60歳以上では4割を超える（45.2%）。
- （※）「70歳まで働きたい」「75歳まで働きたい」「75歳を過ぎても、できるだけ長く働きたい」の計



(n=2,064)

（高齢になってからの働き方等）

- ・男性は「働きたくない」（22.1%）が最も高く、次いで「正規雇用者として、それまでの経験を生かした仕事」（21.9%）と続く。
- ・女性は「非正規雇用」（33.2%）が最も高く、次いで「わからない」（19.2%）と続く。



(n=男性: 955、女性: 926)

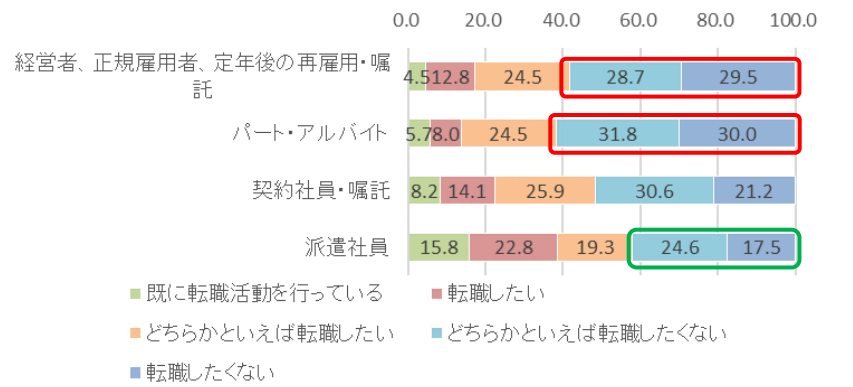
4 転職に対する意識

（転職意向）

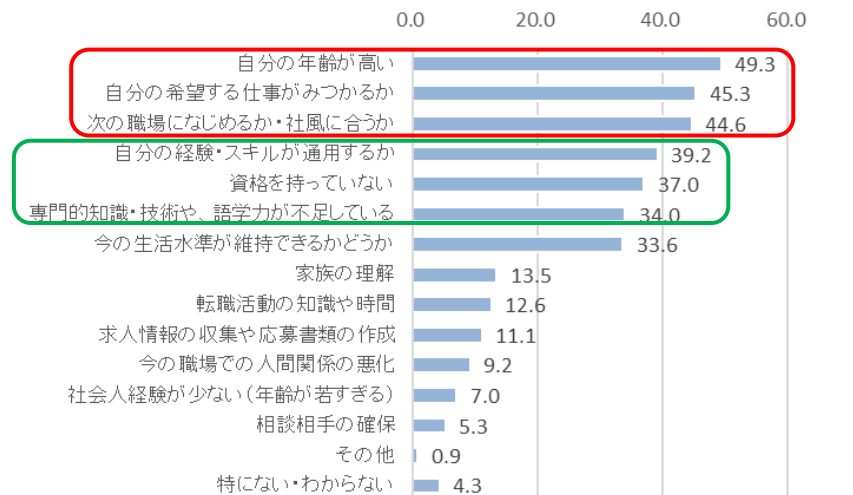
- ・転職を希望しない（※）とした割合は「経営者、正規雇用者、定年後の再雇用、嘱託」（58.2%）と「パート・アルバイト」（61.8%）では約6割となっている。
 - ・一方、「派遣社員」では半数以下（42.1%）となっている。
- （※）「転職したくない」「どちらかといえば転職したくない」の計

（転職を検討するうえで不安なこと）

- ・「自分の年齢が高い」（49.3%）が最も高い。
- ・次いで「自分の希望する仕事が見つかるか」（45.3%）、「次の職場になじめるか・社風に合うか」（44.6%）が4割を超える。
- ・「自分の経験・スキルが通用するか」（39.2%）、「資格を持っていない」（37.0%）、「専門知識・技術や、語学力が不足している」（34.0%）と自らの職業能力に対する不安も多くなっている。



(n=正規雇用者等: 1,047、パート・アルバイト: 424、契約社員・嘱託: 85、派遣社員: 57)

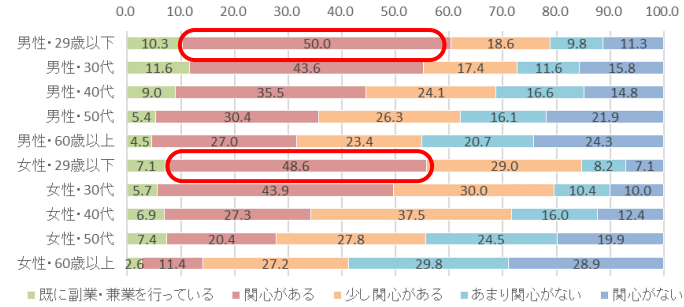


(n=2,064)

5 副業・兼業に対する意識

(副業・兼業意向)

- 男女とも年代が若くなるほど、「関心がある」とした割合は高くなっていく。
- 男女とも29歳以下では「関心がある」とした割合は約5割を占める。



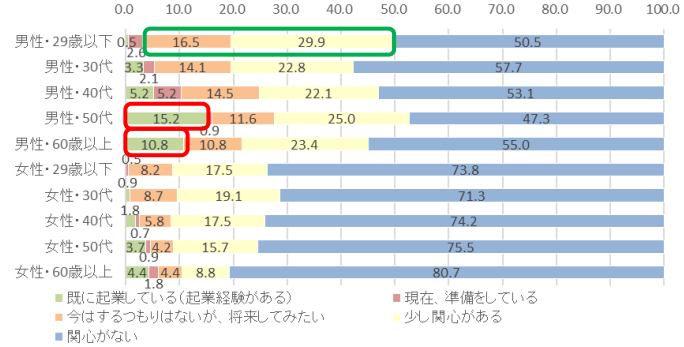
n= 男性 29歳以下:187 30代:232 40代:280 50代:216 60歳以上:106
女性 29歳以下:176 30代:221 40代:265 50代:208 60歳以上:109

6 起業に対する意識

(起業意向)

- 「既に起業している(起業経験がある)」とした割合は50歳代の男性(15.2%)が最も高く、次いで60歳以上の男性(10.8%)と続く。
- 男女とも年代が若くなるほど、関心がある(※)とした割合は高くなっており、29歳以下の男性は4割を超える(46.4%)。

(※)「今はするつもりはないが、将来してみたい」「少し関心がある」の計



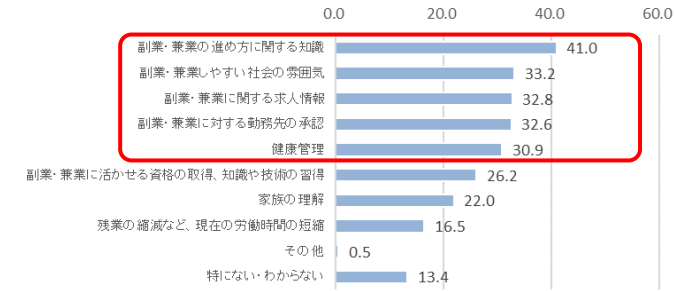
n= 男性 29歳以下:187 30代:232 40代:280 50代:216 60歳以上:106
女性 29歳以下:176 30代:221 40代:265 50代:208 60歳以上:109

7 無職者が今後働くうえで重要なこと

- 男性は「勤務時間が柔軟な職場」(43.7%)が最も高く、次いで「通勤しやすい職場」(41.4%)、「職場のコミュニケーションに不安がないこと」(36.8%)と続く。
- 女性は「通勤しやすい職場」(69.6%)が最も高く、次いで「勤務時間が柔軟な職場」(65.9%)、「勤務日が柔軟な仕事」(61.2%)が6割を超える。

(副業・兼業をするために必要なこと)

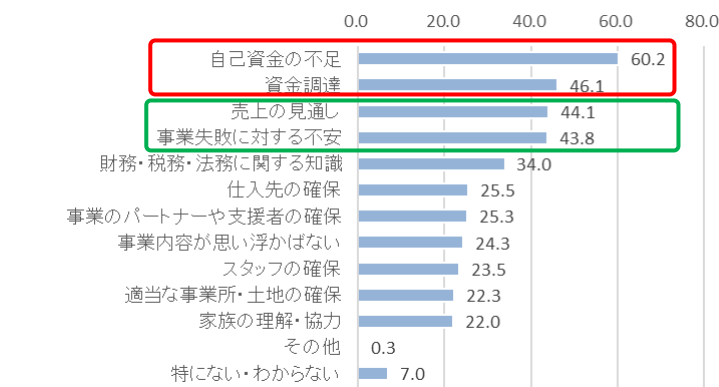
- 「副業・兼業の進め方に関する知識」(41.0%)が最も高い。
- 次いで「副業・兼業しやすい社会の雰囲気」(33.2%)、「副業・兼業に関する求人情報」(32.8%)、「副業・兼業に対する勤務先の承認」(32.6%)、「副業・兼業に対する勤務先の承認」(32.6%)、「健康管理」(30.9%)が3割を超える。



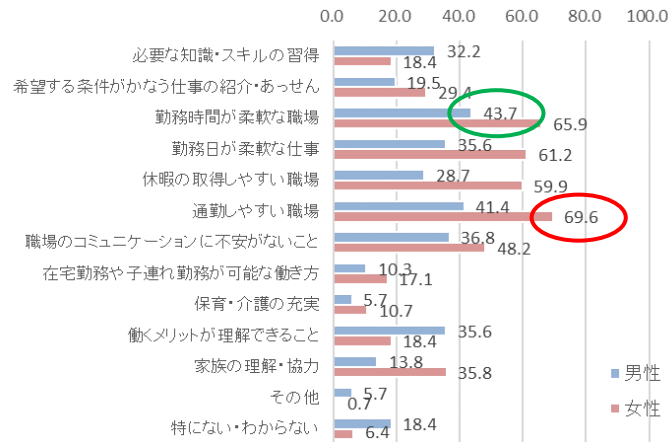
(n=2,064)

(起業にあたっての課題)

- 「自己資金の不足」(60.2%)が最も高く、次いで「資金調達」(46.1%)となっており、資金面の課題が上位を占める。
- 次いで「売上の見通し」(44.1%)、「事業失敗に対する不安」(43.8%)が4割を超える。



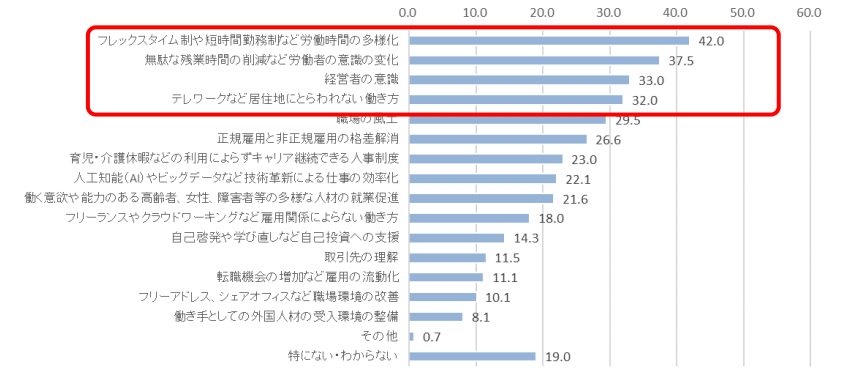
(n=2,064)



(n=男性:955、女性:926)

8 働き方改革の実現に向けて必要なこと

- 「フレックスタイム制や短時間勤務制などの労働時間の多様化」(42.0%)が最も高い。
- 次いで「無駄な残業時間の削減など労働者の意識の変化」(37.5%)、「経営者の意識」(33.0%)、「テレワークなど居住地にとられない働き方」(32.0%)が3割を超える。

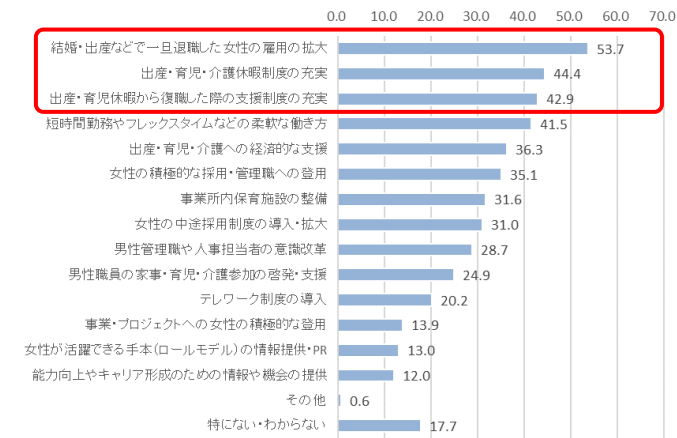


(n=2,064)

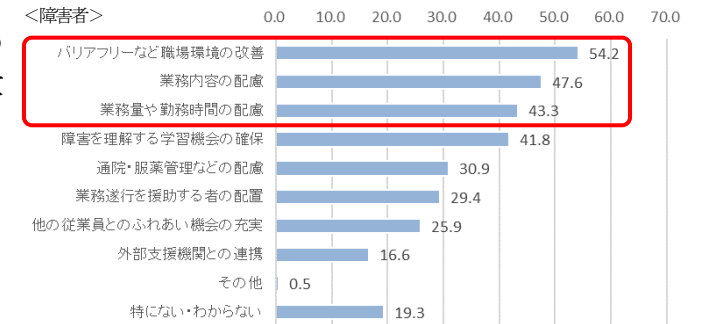
9 多様な人材が働きやすく活躍できる職場づくりに必要なこと

- 女性については「結婚・出産などで一旦退職した女性の雇用の拡大」(53.7%)が最も高く、次いで「出産・育児・介護休暇制度の充実」(44.4%)、「出産・育児休暇から復職した際の支援制度の充実」(42.9%)と続く。
- 障害者については「バリアフリーなど職場環境の改善」(54.2%)が最も高く、「業務内容の配慮」(47.6%)や「業務量や勤務時間の配慮」(43.3%)と続く。
- 外国人については、「日本人従業員のコミュニケーション力の向上」(42.5%)が最も高く、次いで「外国人の日本語学習機会の充実」(40.5%)、「文化・習慣・宗教の違いを理解する学習機会の確保」(35.7%)と続く。

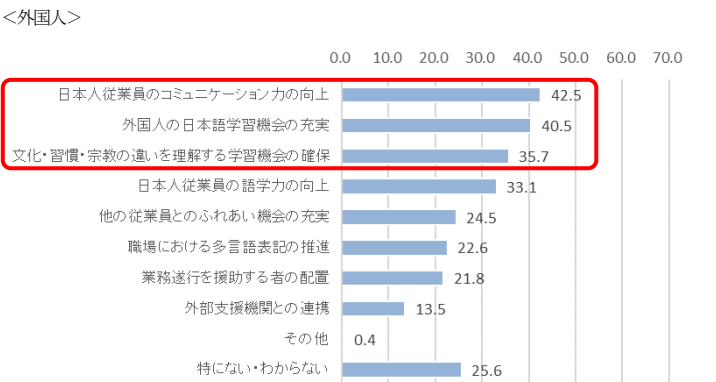
<女性>



(n=2,064)



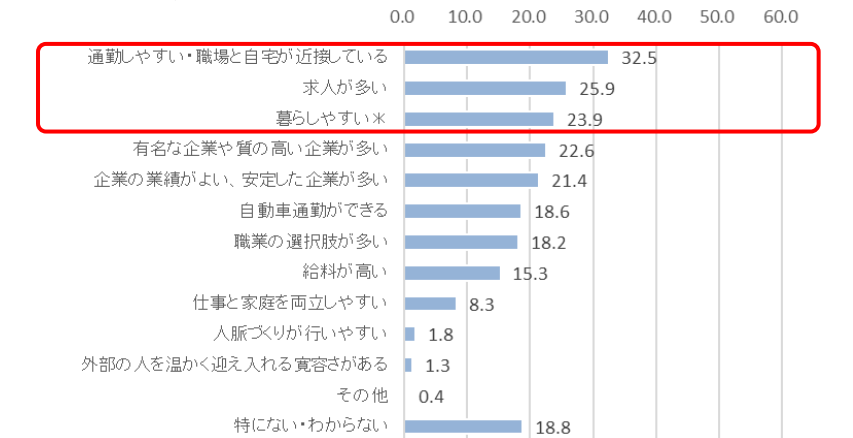
(n=2,064)



(n=2,064)

10 愛知県内で働くメリット

- 「通勤しやすい・職場と自宅が近接している」(32.5%)が最も高い。
- 次いで「求人が多い」(25.9%)、「暮らしやすい(物価が安い、東京に比べてゆとりがある、便利、気候が安定している等)」(23.9%)と続く。



*暮らしやすい(物価が安い、東京に比べてゆとりがある、便利、気候が安定している等)
(n=2,064)

